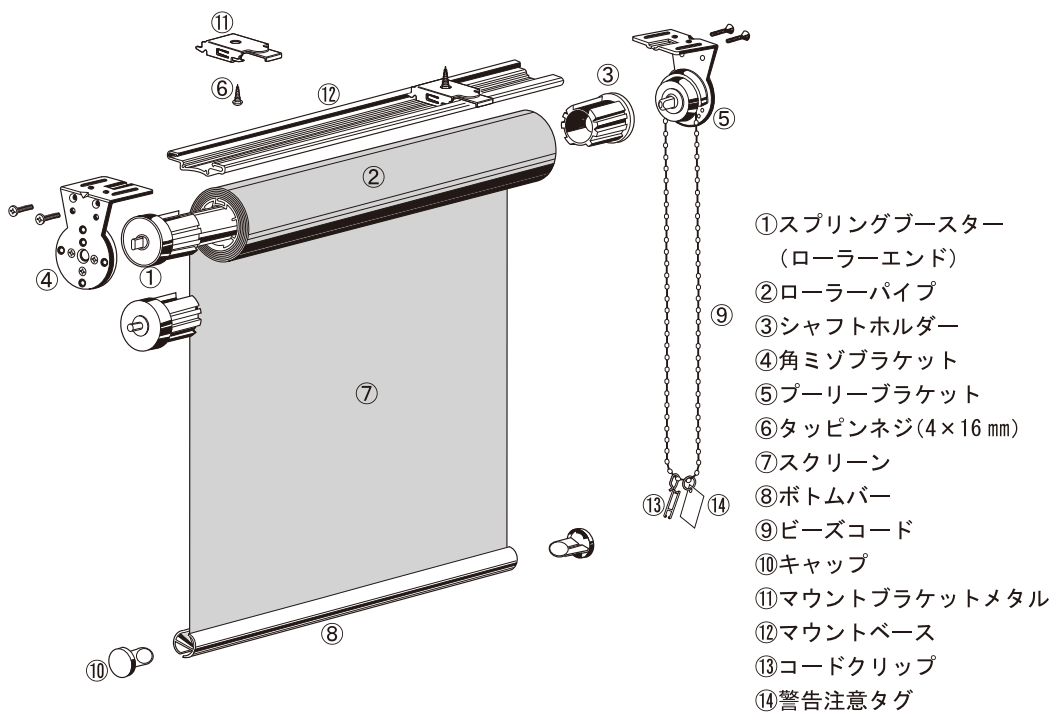


MRS 4

ロールスクリーン取扱説明書

ハンドドライブ・フルセット

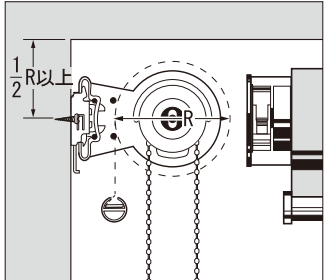
● 構造及び部品名称



取付方法

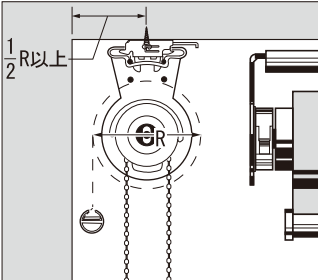
1 取付場所

■壁付け

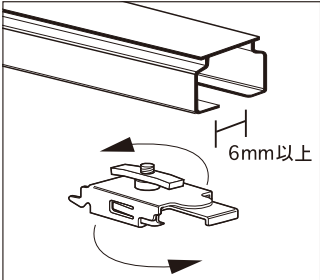


取付場所は、窓枠の正面、内側等の木部に適しています。壁面からは図のようにスクリーンの巻径の半分以上離して取り付けます。サッシ側に寄せて取り付けますとスクリーンがサッシに干渉して巻き上がらなくなります。

■天井付け



■カーテンレール付け(オプション)

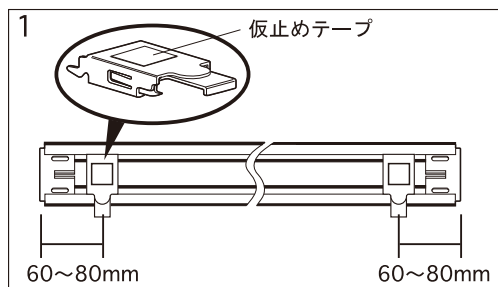


マウントブラケットメタルの上部の金具をマウントブラケットメタルと平行にし、カーテンレールの溝に入れてください。マウントブラケットメタルをカーテンレールと直角になるように矢印の方向にひねり、取り付けボルトをしめつけてください。

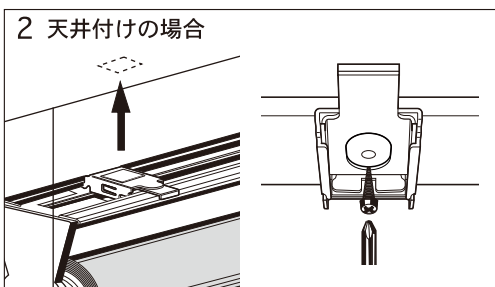
⚠ 注意

- 製品は、スクリーンの厚さと製品丈により適当な位置に取り付けてください。
- 取付場所の水平を確認してください。水平でないと巻きずれの原因となります。
- カーテンレール付けの場合、カーテンレールの溝は6mm以上必要です。カーテンレールの本体が固定されていることを事前に確認してください。落下の原因となります。

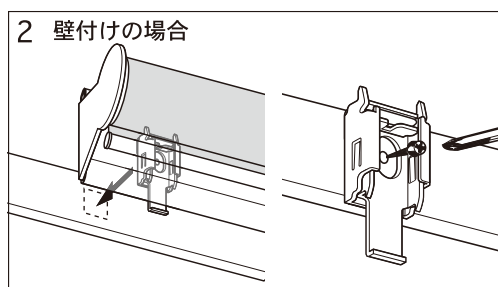
2 マウントブラケットメタルの取り付け



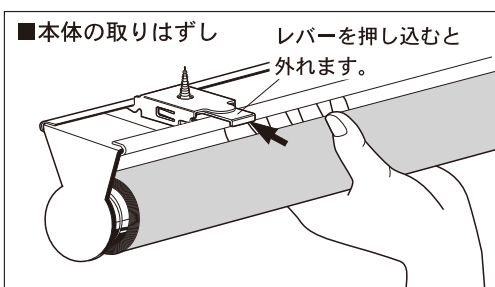
マウントブラケットメタルに仮止めテープを貼り付け、マウントベースの端から 60~80 mm ぐらいの位置に取り付けてください。(3 個以上ある場合は、均等に振り分けてください。)



マウントベースごと取付位置に押しつけます。仮止めテープがはがれないようにマウントベースをマウントブラケットメタルから取りはずします。下の図のように本体を取りはずし、ネジでマウントブラケットメタルを固定します。



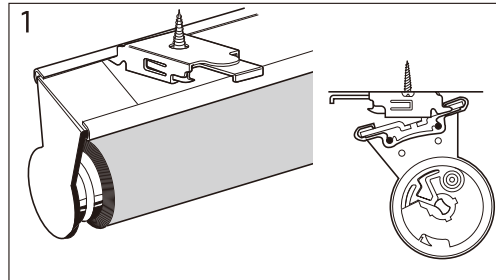
マウントベースごと取付位置に押しつけます。仮止めテープがはがれないようにマウントベースをマウントブラケットメタルから取りはずします。右の図のように本体を取りはずし、ネジでマウントブラケットメタルを固定します。



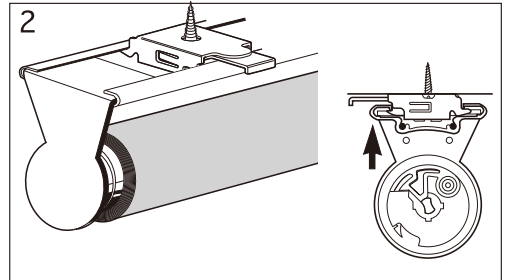
⚠ 注意

- 取りはずしの作業の際には、スクリーンを巻き上げた状態で、必ず手で支えながら作業してください。

3 製品の取り付け



製品本体を持ち、マウントベースの後ろ側をマウントブラケットメタルに引っかけます。

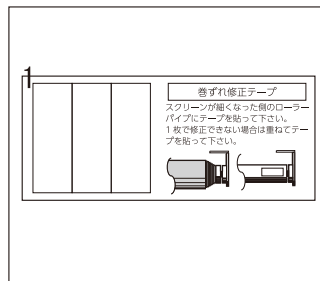


前に押し上げ、はめ込みます。カチッと音がするのを確認してください。マウントベースが、全てのマウントブラケットメタルに止まっていることを確認してください。

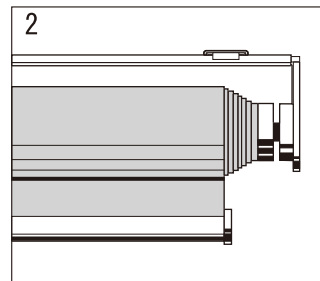
調整方法

巻きずれ調整

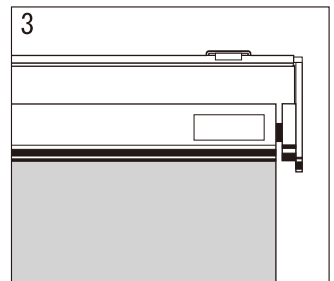
●スクリーンを巻きあげたときに巻きずれが発生した場合



上図のような巻きずれ修正テープが同梱されています。



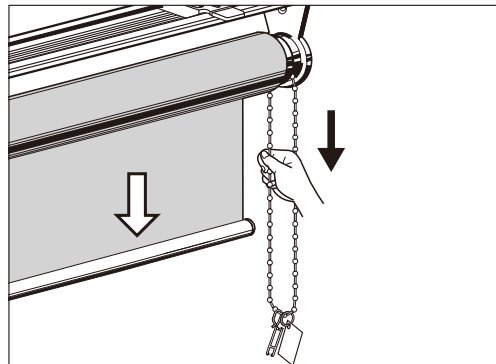
スクリーンが図のように、巻きずれてあがっている側を確認してください。スクリーンを上方のローラーパイプが見えるまで下に引きさげてください。



スクリーンが図2のように巻きずれてあがっていた側のローラーパイプに巻きずれ調整テープを貼付してください。一枚で修正できない場合は重ねて巻きずれ調整テープを貼ってください。

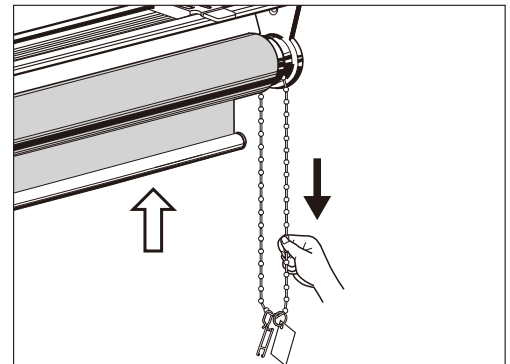
操作方法

■スクリーンをさげる時



ビーズコードの後ろ側を手で持ってまっすぐ下に引きます。任意の位置で手を止めるとスクリーンが止まります。

■スクリーンをあげる時



ビーズコードの手前側を持ってまっすぐ下に引くとスクリーンは上がります。

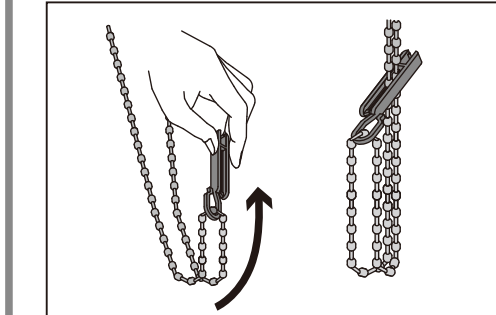
⚠ 注意

- 勢いよく急激に操作すると巻きずれが起きたり故障の原因になりますのでゆっくり操作するようにしてください。

⚠ 警告 子どもの手が届かないように必ずコードクリップを使用してください。

- 子どもがビーズコードで遊ぶと、ビーズコードがからだや首に巻き付いたりして、思わぬけがや死亡事故につながるおそれがあります。
- 小さな子どもがいるご家庭では、ロールスクリーンの近くにソファやベッドなど足の踏み場になるようなものを置かないでください。ソファやベッドなどに上ると小さな子どもでもビーズコードに手が届くため、思わぬけがや死亡事故につながるおそれがあります。

コードクリップの使用方法



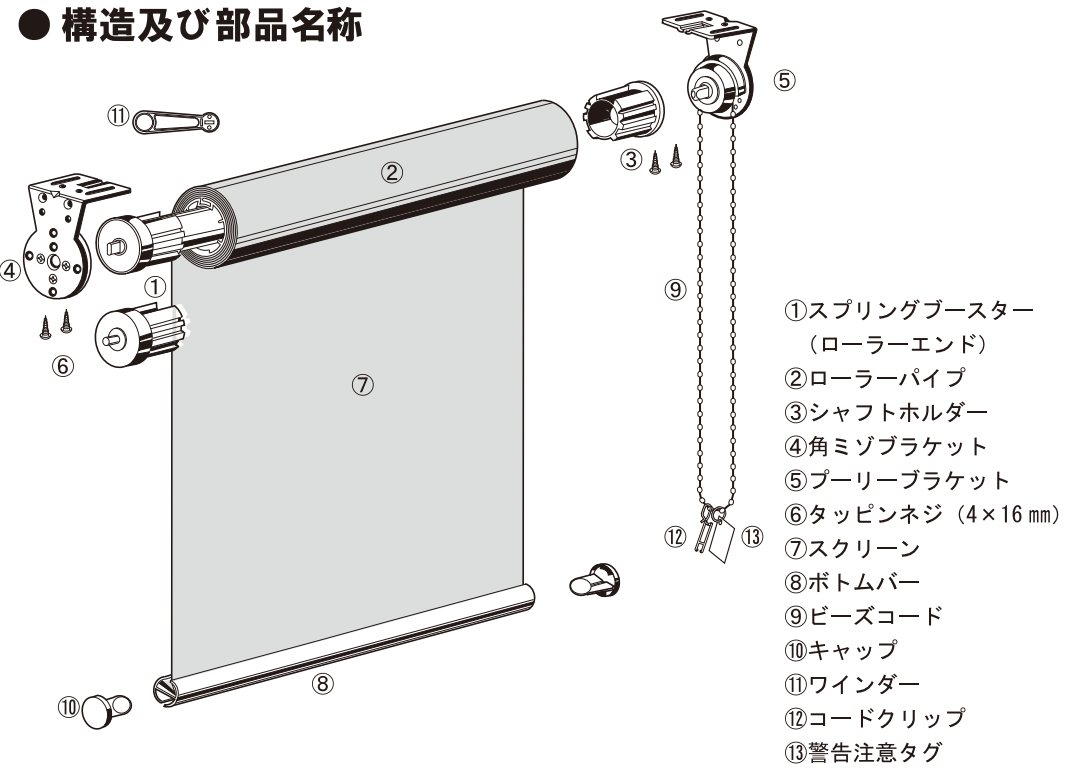
クリップ部を指でつまむとクリップが開閉します。コードクリップを持ち上げ、クリップを開いてビーズコードに一旦留めてください。



さらに必要に応じて垂れ下がったビーズコードを手繰り上げてクリップに束ねて留めてください。

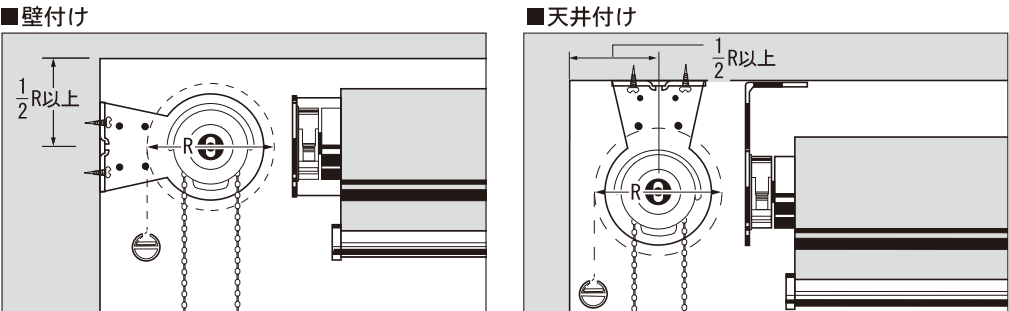
MRS 4 ロールスクリーン取扱説明書
ハンドドライブ・シンプルセット

● 構造及び部品名称



取付方法

1 取り付け場所

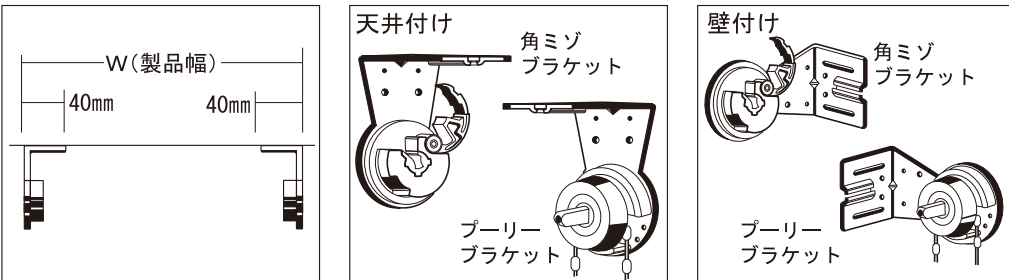


取付場所は、窓枠の正面、内側等の木部に適しています。
壁面からは図のようにスクリーンの巻径の半分以上離して取り付けます。
サッシ側に寄せて取り付けますとスクリーンがサッシに干渉して巻き上がらなくなります。

⚠ 注意

- 製品は、スクリーンの厚さと製品丈により適当な位置に取り付けてください。
- 取付場所の水平を確認してください。水平でないと巻きずれの原因となります。
- 石膏ボードを材料とする面には取り付けできません。落下の原因になります。やむをえず取り付ける場合には、専用のアンカーを別途購入のうえ取り付けてください。

2 ブラケットの取り付け位置

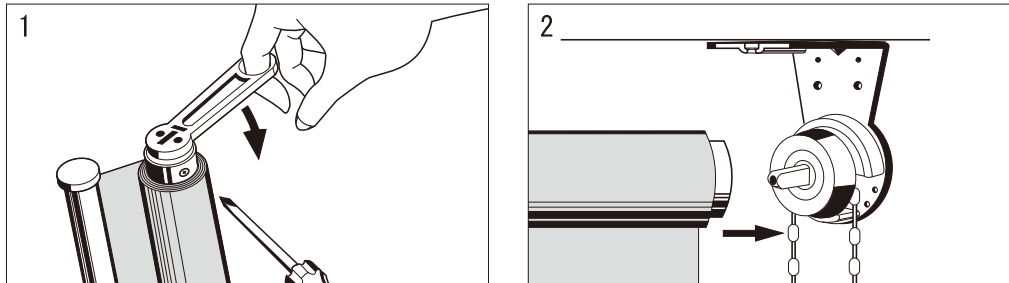


ブラケットを上図のように製品幅と同じ位置に取り付けます。
プーリーブラケットを操作側に、角ミゾブラケットを反対側に製品幅と同じ位置にタッピンネジでしっかり固定してください。

⚠ 注意

- ブラケットの取付位置は正確に寸法をはかり取り付けてください。取付位置の寸法幅がひろすぎると脱落、狭すぎると昇降不良の原因となります。

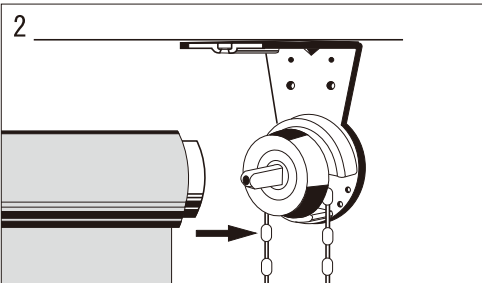
3 製品の取り付け①



スプリングブスターの角ピンを部品に記載の矢印の方向にワインダーで指定回数（保証書に記載された初巻き回数）をまわしてください。
初巻きがもどらないように止めネジをロックしてください。

⚠ 注意

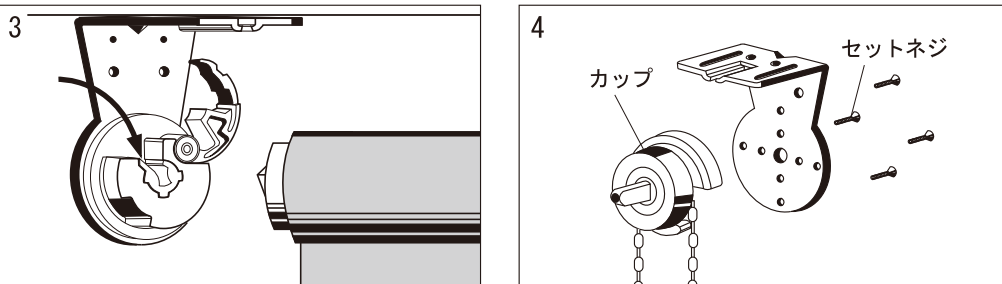
- 角ピンを逆方向に回転させるとクラッチが破損します。絶対に行なわないでください。



プーリーブラケットにシャフトホルダーを差し込みます。

このたびは、ロールスクリーンをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
保証書(別添)は必ず、この説明書とともに大切に保管してください。

3 製品の取り付け②



⚠ 注意

- ブスターは、ロックの解除ができる位置に落し込んでください。

操作方法・調整方法は裏面をご覧ください

安全上のご注意 必ずお守りください

取扱説明書はお客様に安心して製品をお使いいただき、人身への被害と財産への損害を未然に防ぐため、以下のように表示し、説明しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いを行うと、使用者などが死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される危害の程度を示す。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いを行うと、使用者などが傷害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

■お手入れ方法

- スクリーンについたホコリは、はたきや乾いた布で軽くはらってください。
- スクリーンは洗えません。水、漂白液、液体洗剤等を使用すると変質、変色の原因になります。
- スクリーンに殺虫剤をかけたり、シンナーやベンジンなどの揮発性のあるもので拭いたりしないでください。変質、変色の原因になります。

⚠ 警告

- ロールスクリーン本体及びボトムバーを強い力で引っ張ったり、ぶらさがったりしますと故障の原因や落下する場合があります。危険です。おやめください。
- ロールスクリーンの近くに、温度の高くなるストーブなどを置かないでください。火災の原因になります。

⚠ 注意

- ロールスクリーンは、出荷時に調整済みですので分解や改造は絶対に行なわないでください。
- ロールスクリーンを下げたときにスクリーンに障害物があたらないようにしてください。障害物がある場合は取り除いてから操作してください。しわの原因になります。
- 風呂場など水分や湿気の多い場所では使用しないでください。シミや汚れの原因になります。
- 雨が直接スクリーンにかかる場所では使用しないでください。
- 風が強い時は、ロールスクリーンを巻き上げるか、窓を閉めて使用してください。スクリーンがおられて置物などにあたり破損の原因になります。

■アフターサービス

1. 製品保証について

- (1) 保証期間
保証期間 — 製造日から 1 年間
製造日については、ローラーパイプに貼付されたデータシートに印字してあります。
※ただし、スクリーンは対象外です。
- (2) 無料修理規定
取扱説明書の注意事項に従った使用状態で保証期間中に故障した場合には、無償修理いたします。
- (3) 製品保証の免責事項
①取付け・使用上の誤り、また不当な改造による故障及び損傷。
②お買い上げ後の取付場所の移動、引っ越し、輸送等による故障及び損傷。
③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、ガス害等による故障及び損傷。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は、規定に従ってお買い上げの販売店にローラーパイプに貼付されたデータシートの内容をお伝え下さい。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年です。
- アフターサービスについておわかりにならないときはお買い上げの販売店にお気軽にお問い合わせください。
- 部品についてのお問い合わせは、部品名称をご参照ください。
- 本品の規格及び外観は改良のために、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 防災製品には、ローラーパイプの中央に防災ラベルが貼付されています。確認が必要な場合は、スクリーンをローラーパイプが見えるまで下にさげてください。

METACO inc. 株式会社 メタコ

本社 106-0032 東京都港区六本木7-3-8 永谷ヒルプラザ六本木203 TEL 03-3403-9571 FAX 03-3403-6498
大阪営業所 540-0011 大阪府大阪市中央区農人橋1-4-31-9F TEL 06-6947-1771 FAX 06-6947-1772